

## おおふなと一くルームにおける市民意見に対する対応方針等について

**【分野】**

- ①若手経済団体及び若手経営者
- ②農林水産業者
- ③子育て世代及び子育て関係者
- ④高校生

**【対応区分】**

- A 意見の趣旨に沿って対応しているもの
- B 実現に向け努力または検討しているもの
- C 当面は実現できないもの
- D 実現が極めて困難なもの

No.	分野	市民意見	対応方針等	対応区分	市担当
1	①	道路の整備、三陸沿岸道への県病付近からの出入口を整備してほしい。	<p>県立大船渡病院付近の新たなインターチェンジ整備については、平成25年度から国・県へ要望を行っており、三陸国道事務所から技術的支援を受けながら検討した結果、ハーフインターチェンジ形式での概算事業費が、平成26年当時で約25億円となっています。</p> <p>国から、新たなインターチェンジについては、地元負担との考えが示されていることから、整備することは困難です。(D)</p>	D : 1	建設課
2	①	郷土芸能の継承を図るため、まつり等で郷土芸能をもっと出演させてほしい。	<p><b>【生涯学習課】</b> 毎年、市民芸術祭を開催し、芸術文化団体の出演を募集し、成果発表の場を提供していきたいと考えています。(B)</p> <p><b>【観光交流課】</b> まつり開催に当たっては、これまでも郷土芸能団体へ積極的に出演依頼を行ってきましたが、近年は後継者不足や日程の都合などにより、出演が難しいとされるケースが増えています。 郷土芸能団体の活動実態を十分に考慮しつつ、引き続き出演に向けた調整を進めていきたいと考えています。(B)</p> <p><b>【教育総務課】</b> 大船渡市民俗芸能継承フェスティバル開催に支援するとともに、市内の民俗芸能の魅力を国内外に発信し、文化交流の促進を図っていきます。(B)</p>	B : 3	生涯学習課 観光交流課 教育総務課
3	①	市内の体育施設とゆめアリーナ（陸前高田市）などの利用について気仙地域で広域連携を深めてほしい。	<p>大船渡ポートサイドバレーボール大会では、陸前高田市と連携し、大船渡市民体育館と陸前高田市「総合交流センター・夢アリーナたかた」を会場に実施しています。</p> <p>今後も継続して実施するとともに、新たな大会等の誘致に向けた近隣自治体との連絡体制の構築を図ります。(B)</p>	B : 1	生涯学習課
4	①	高校の統合について、実業高校の必要性はあるので、実業学科と普通科を確保維持してほしい。	<p><b>【企画調整課】</b> 令和7年10月21日、岩手県教育委員会教育長に対し、岩手県沿岸南部地区の5市町（当市、陸前高田市、住田町、釜石市、大槌町）が共同で、大船渡東高校食物文化科の存続を求める旨の要望を実施しました。(A)</p> <p><b>【教育総務課】</b> 引き続き、実業学科と普通科の維持確保に向け、岩手県教育委員会へ地域の実情や教育的な意味について強く訴えていきます。(A)</p>	A : 2	企画調整課 教育総務課

No.	分野	市民意見	対応方針等	対応区分	市担当
5	①	サンリア・盛商店街に賑わいを作ってほしい。	中小企業振興事業により、賑わい創出に係る補助事業を実施しています。(B)	B : 1	商工企業課
6	①	珊瑚島を活用してほしい。	国の名勝に指定される珊瑚島は、「鑑賞上価値の高いもの」として保護されているほか、国立公園第一種特別地域にも指定されているため、工作物の新築や土地の形状変更が認められていないことから、活用にあたっては、珊瑚島としてのあるべき姿を維持していくための行為の延長であることが求められると理解しています。 今後の利活用についても、こうした保護の観点を踏まえた上で検討したいと考えています。(C)	C : 1	観光交流課
7	①	子どもたちが仕事の職種を知らないようなので、子供向けの職業体験施設の提供をしてほしい。	【商工企業課】 市において、キャリアチャレンジデイを実施しています。(B)  【学校教育課】 市では、キャリア教育の充実に取り組んでいて、中学校1年生を対象とした職業講話、中学校2年生を対象とした職場体験学習を実施し、市内のさまざまな企業等に関して、学習を深めています。(B)	B : 2	商工企業課 学校教育課
8	①	学校統合によって学校での地域活動の機会（郷土芸能等）が減少しているのので、機会を設けてほしい。	【市民協働課】 市では、地区運営組織と地区内の小・中学校が連携して実施する地域活動（日頃市小学校の田植え体験等）の機会拡大を支援しています。(A)  【学校教育課】 学校統合により地域の郷土芸能活動等の機会が失われないよう、学校統合後の運動会や学習発表会、文化祭、総合的な学習の時間などでの取組の確保について、学校に働きかけていきたいと考えています。(B)	A : 1 B : 1	市民協働課 学校教育課
9	①	女性経営者等の集う発言の機会を増やしてほしい。	【デジタル戦略課】 令和6年度に引き続き、令和7年度も市長との座談会を開催しており、令和8年度以降も開催する予定としています。(A)  【男女共同参画室】 市では、岩手大学と連携し、女性経営者等の考え方等を、将来リーダーとなる世代に伝え、意見交換する機会として、女性のキャリア形成支援リカレントプログラム等を実施しています。(A)	A : 2	デジタル戦略課 男女共同参画室
10	①	風力発電施設の建設に伴う波及効果によって飲食店が潤うので考えてほしい。(中小企業振興視点で)	企業立地推進事業により、企業誘致活動及び工場等を増設する市内企業等への支援を実施しています。(B)	B : 1	商工企業課
11	①	漁業、飲食店のアルバイトがないので多くの学生を確保するためにも、北里大学の復活をお願いしたい。	北里大学に関しては、当市三陸町越喜来地区に立地する同大学海洋生命科学部附属三陸臨海教育研究センターの様々な機能の有効活用を基軸としながら、市はもとより、関係機関・団体とともに、同大学との連携を一層深めていきます。(C)	C : 1	企画調整課

No.	分野	市民意見	対応方針等	対応区分	市担当
12	①	民泊活動推進団体への補助、行政支援をお願いしたい。	【商工企業課】 中小企業融資あっせん事業などを実施し、中小企業の安定した事業推進を後押ししています。(B)	B : 2	商工企業課 観光交流課
			【観光交流課】 民泊の取組は、当市の魅力を発信する上で一定の役割を果たすものと捉えていますが、補助などの行政支援については、取組内容や今後の展開を踏まえながら、必要に応じて検討したいと考えています。(B)		
13	①	教育委員会に対して、働く場を情報提供する授業の設置をお願いしたい。	市では、キャリア教育の充実に取り組んでいて、中学校1年生を対象とした職業講話、中学校2年生を対象とした職場体験学習を実施し、市内のさまざまな企業等に関して、学習を深めています。(A)	A : 1	学校教育課
14	①	気仙丸について、定期的に帆を張れないか、記者会見の背景やシンボリックにしてはどうか検討してほしい。	【デジタル戦略課】 記者会見等におけるバックパネルについては、市章やおおふなトン、将来都市像をあしらったデザインとしており、市内外に向けた情報発信の一助として、当面、現行のデザインを活用します。(C)	C : 1 D : 1	デジタル戦略課 観光交流課
			【観光交流課】 陸上展示に向けた船体修理を行った結果、現在は帆を張ることができない構造となっています。(D)		
15	①	宮崎県庁のように、本庁舎をブランド化して観光利用してほしい。	本庁舎は、昭和45年度に鉄筋コンクリート造3階建の事務棟と議会棟が完成、その後、平成3年度に鉄骨造一部2階建の増築棟が整備されています。 また、平成27年度から3カ年に渡り、耐震化改修事業を実施し、平成30年度には、トイレの洋式化やエアコン設置等の改修事業を行っています。 以上のように、来庁する市民の利便性、快適性の向上を重視して、施設の長寿命化を図っているところです。 一方、本庁舎は令和7年で築55年を迎えており、今後、建て替えについて検討していく必要があることから、今回の意見については、新庁舎の建築に向けて参考とさせていただきます。(C)	C : 1	財政課
16	②	防災力の強化を望む。防災行政無線は、先日の津波警報発表の際にも聞こえづらいところがあったり、越喜来漁港内では聞こえなかったり、放送後も知らずに水門内に残された人もいたため。	市では、緊急情報等を確実に住民へ伝達するため、防災行政無線、戸別受信機に加え、緊急速報メール(携帯電話、スマートフォン)、市公式SNSなど多様な媒体を活用し広報しています。 水門・陸閘の運用については、市広報紙で仕組みや設置場所を説明するなど、住民周知を図ります。(B)	B : 1	危機防災対策課

No.	分野	市民意見	対応方針等	対応区分	市担当
17	②	イベントを増やしてほしい。産業まつりなどはあるが、市民体育館でやっていた以前より規模が小さくなったと思うので、もっと大きめで、業者も多くを望む。 例えば、市内の宿泊業者等にもいいと思うので、若い人たちが魅力を感じる農業・漁業体験ツアー（1泊2日）イベント。	<p><b>【観光交流課】</b> イベントについては、対象となる参加者の年齢、性別、属性などに基づく「ニーズ」への満足度に加え、イベントの規模や開催時期、近隣自治体における類似イベントの開催状況などを総合的に考慮して実施する必要があります。</p> <p>現在、イベントスケジュールの共有を図り、産業まつりに合わせて他団体が会場周辺でイベントを同時開催することで、にぎわいの創出に努めています。</p> <p>今後は、会場の広さから出店事業者数には一定の制約があるものの、多様な業種による出店とともに、単にイベント数を増やすのではなく、既存イベントの見直しや認知度向上に向けた効果的なPR活動を展開し、イベントの質と魅力の向上を図ることで、町おこしに寄与するイベント開催に努めていきたいと考えています。（B）</p> <p><b>【農林課】</b> 毎春、世界の椿館・碁石において、「つばきまつり」を開催しているほか、例年秋には、管内市町等とともに実行委員会に参画し「気仙スギまつり」の開催に参画しています。（B）</p> <p><b>【水産課】</b> 漁業体験ツアーは、過年度に地域おこし協力隊が実施した実績があります。</p> <p>現在、隊員の募集を行っており、また、市内では民間事業者による漁業体験の提供が行われていることから、観光事業者や関係機関等と連携しながら、取組を検討したいと考えています。（B）</p>	B : 3	観光交流課 農林課 水産課
18	②	大船渡市は輸出が少ないので、港を有効活用してほしい。	<p>大船渡港におけるバルク貨物を含めた最新（令和5年）の海上貨物取扱量は、県内4つの重要港湾における取扱量の約57%を占め、約260万トンとなっています。</p> <p>また、令和6年度のコンテナ貨物取扱量については、前年度比約21%増の6,430TEUとなり、2年連続で輸出・移出を含めて過去最高を更新しています。</p> <p>本年度においても、新規利用事業者の獲得を図るため、首都圏セミナーの開催や、関係事業者との情報交換を行いながら、トップセールスを含めた積極的なポートセールスに努め、貨物取扱量の更なる増加を目指して取り組んでいきます。（A）</p>	A : 1	港湾振興課
19	②	各業界で「こういう困りごとがある」という声があれば、市でそれにレスポンスを返して反映してほしい。	<p>市民等からの提言等については、提言等の要旨とそれに対する本市の回答を公表しており、引き続き、市ホームページを通じて、広く発信していきます。（A）</p>	A : 1	デジタル戦略課
20	②	子育て世代、若い人への支援、「大船渡に住んでいることによる大変さ」を感じないようなサポートを望む。	<p>保育料の完全無償化や児童手当の拡充等、経済的支援を含めた子育て支援と家庭と仕事との両立支援を軸に取り組んでおり、引き続き若い人達にとって暮らしやすいまち・子育てしやすいまちとなるよう、子育て支援等に取り組みます。（A）</p>	A : 1	こども家庭センター

No.	分野	市民意見	対応方針等	対応区分	市担当
21	②	今回の「市長と語る座談会」、距離が近いのは大変いいことと思う。ここで出た意見や要望に対して「こうしました」という結果を返して、発信してほしい。	【デジタル戦略課】 市民意見に対する市からの回答は重要であると認識していることから、市長との座談会を引き続き開催しながら、結果等について市ホームページ等で公表します。(B)	B : 2	デジタル戦略課 秘書課
			【秘書課】 市民意見に対する市からの回答は重要であると認識しており、市ホームページ等で公表します。(B)		
22	②	娘が吹奏楽部で活動しており、産業まつりや客船イベントにも参加しているが、楽器が非常に古く劣化しており、昭和のものもあり、修理しながら使っている状況。学校生活を豊かに送ってほしいので何か配慮(支援)いただければ。	中学校の吹奏楽部は、学校備品として整備した楽器を現在使用していると認識しています。 市内の吹奏楽部以外の部活動について、使用する物品などは保護者負担により整備している現状であることから、他自治体の情報を収集しながら、支援について研究を深めていきたいと考えています。(C)	C : 1	学校教育課
23	②	人口を増やす対策を望む。そのために交通アクセス、子育て環境、病院なども、安心して暮らせるまちづくりを。自然豊かなまちのPRを積極的にお願いしたい。	【企画調整課】 市では、暮らしたいと思える魅力ある地域づくりを第一歩とし、若年層や女性が将来に夢を描ける環境を整え、子どもを持ちたい人々を支える施策に力を注いでいきます。 道路や地域公共交通の利便性向上、安心して子育てできる切れ目のない支援の充実、地域医療体制の強化を進めるとともに、みちのく潮風トレイルなど豊富な観光資源を核に、自然と調和した魅力発信を強化し、希望を持てる持続可能なまちを目指します。(B)	B : 2	企画調整課 デジタル戦略課
			【デジタル戦略課】 今年度、大船渡ならではの魅力を明確化し、その価値を高めるための戦略的な取組を推進する「地域ブランディング・デジタルマーケティング」事業を実施しており、事業の成果を踏まえ、より効果的かつ持続的なシティプロモーションを推進します。(B)		
24	②	鳥獣害対策を望む。イノシシも出てきており、鹿よりも悪質で繁殖力も高く、対策できないと農業の継続も難しくなると思うため。	シカ、サル、イノシシ等の野生鳥獣による被害対策については、「捕獲」による個体群管理、防護網設置等による「侵入防止」、放任果樹の伐採や刈払い等による「環境管理」の3つの対策を基本に、地域及び関係機関・団体と一体となって被害防止に努めており、今後も継続していきます。(B)	B : 1	農林課
25	②	令和10年度から部活動が地域移行となるが、現状でも中学校の部活の存続が大変なところ、なくなってしまうと再度立ち上げるのは困難なので、スポーツ協会や各協会が集まって全体で話し合いをするなどを考えてほしい。	【生涯学習課】 部活動の地域移行については、大船渡市スポーツ協会と連携して、スポーツ少年団の支援、指導者の育成や充実に努めています。(A)	A : 2	生涯学習課 学校教育課
			【学校教育課】 学校関係者や部活動指導者、スポーツ協会、文化活動団体などで構成する「大船渡市立中学校部活動の在り方に関する検討委員会」を令和4年3月に設置し、情報共有を図りながら、部活動の在り方や地域移行等について協議、検討を進めています。 現状の部活動をベースとしたクラブ、新規立ち上げとなるクラブなど、地域移行後のクラブ活動は任意であるとの認識であることから、各クラブの考え方で進めていくものと考えています。(A)		

No.	分野	市民意見	対応方針等	対応区分	市担当
26	②	林業の担い手確保のための取組を進めてほしい。林業にもアカデミーがあり、自分でお金を出して学び研修するが、その参加者が増えてほしいため。	林業の担い手対策については、森林環境譲与税を活用して、森林所有者の森林整備への支援を継続して実施するとともに、気仙地方林業振興協議会等の各種研修情報の提供等により、意欲と能力のある森林経営体の育成及び担い手の育成・確保に努めています。(B)	B : 1	農林課
27	②	行政との連携で、地域の山を守り、水産や農業と連携できる場を市に後押ししてほしい。	<p>【農林課】 引き続き、林業に係る必要な支援を検討していきます。(B)</p> <p>【水産課】 地域の山林と農水産業との連携は、地域資源の保全と活用の観点から重要であると認識しています。 今後、必要な支援のあり方を検討していきます。(B)</p>	B : 2	農林課 水産課
28	②	市の職員が元気でなければ各種施策も進まないと思う。懇親の場をもってコミュニケーションを盛んにして、がんばってほしい。	<p>現在、風通しの良い職場づくり研修や、経験のある先輩職員が若手を支援するメンター制度、部長と新規採用職員の懇談会などにより、職員間のコミュニケーション向上を図るとともに、職場巡視や産業医面談、メンタルヘルス研修等により職員の健康管理に努めています。 今後も、職員が元気に働ける職場環境づくりを継続して進め、各種施策の着実な推進につなげていきます。(A)</p>	A : 1	総務課
29	②	ふれあいランドには様々な人が訪れ、楽しんでいる。立派な遊歩道があり生産森林組合としても支障木撤去をしているが、利用している人が少ない。トレイルなどでもっと活用を。	<p>フレアイランド尾崎岬の遊歩道は、みちのく潮風トレイルのコース外となっています。 トレイルとしての活用は、ニーズを踏まえた上で必要に応じて検討したいと考えています。(C)</p>	C : 1	観光交流課
30	②	市道、林道上の松枯れがひどく、海岸沿いの松は軒並み赤くなって倒れそうなものが多い。海に落ちると引き上げも難しく、養殖施設への被害なども考えられる。道路管理などで考慮してほしい。	<p>【農林課】 松くい虫等の防除については、関係機関とともに被害木の把握に努め、伐採や処理等を実施しています。 今後も、国県の補助事業を活用しながら、森林病虫害の防除対策を継続していきます。(A)</p> <p>【建設課】 市道に影響のある倒木や市道敷地内にある危険な枯れ木については、確認次第、撤去しています。 通行の支障となる私用地にある枯れ木については、所有者に危険であることを伝えていきます。(A)</p>	A : 2	農林課 建設課
31	②	夢海公園の樹について、支えているワイヤー3本のうち1本が腐食してしている。小さい子どもが遊んでおり危険と思うので早急に直していただければ。	夢海公園の樹を支えているワイヤー及び支柱は撤去済みです。(A)	A : 1	土地利用課

No.	分野	市民意見	対応方針等	対応区分	市担当
32	③	一人ひとりの声を柔軟に聞いてくれる行政、地域の特色を生かした施設づくりや地域づくりをお願いしたい。	<b>【デジタル戦略課】</b> 市長との座談会や市政懇談会のほか、窓口・電話相談、市ホームページでのメール機能等により、市民等の意見・要望を聴き、施策や事業を推進する上での参考としています。 引き続き、多様な方法により、広く意見等を聴きながら、その把握に努めていきます。(A)	A : 2 B : 1	デジタル戦略課 財政課 市民協働課
			<b>【財政課】</b> 現在、令和9年度からの第2期大船渡市公共施設等総合管理計画の策定に向けて取り組んでいるところであり、市民の皆さんの声を聞きながら、市民サービスの維持と財政負担とのバランス、地域性を考慮した上で、公共施設等の適正な管理につなげていきたいと考えています。(B)		
			<b>【市民協働課】</b> 市では、地区住民の意見を踏まえ策定した地区づくり計画に基づき、地区運営組織が実践する活動を支援しています。(A)		
33	③	リカレント教育の充実により、個人が自由に（住む場所として）選べる大船渡市になってほしい。将来、子どもがUターンして水産業や農業を、学びたいと言うかもしれないため。	<b>【商工企業課】</b> 奨学金返還支援補助金事業等を実施し、大学等卒業後当市にUターンし易い環境整備に努めています。(A)	A : 4	商工企業課 中央公民館 農林課 水産課
			<b>【中央公民館】</b> 若者の郷土への誇りと愛着の醸成、将来の地域を担う人材育成等を目的とし、「大船渡」について学ぶ「ふるさと教育講座」を令和5年度から市内中学校で実施しています。(A)		
			<b>【農林課】</b> 当市が参画する大船渡地方農業振興協議会において、新規就農者を対象に、県立農業大学校で実施される座学・実技研修への参加経費を助成しています。(A)		
			<b>【水産課】</b> 岩手県では、漁業後継者の育成を図るため、新規漁業就業者の養成機関として「いわて水産アカデミー」を開設しています。 当講座では、座学による漁業の基礎的な知識や技術の習得のほか、指導者の下での実践的な漁労技術を学ぶことができます。 これまでに入講生のうち13名の方が当市で研修しています。(A)		

No.	分野	市民意見	対応方針等	対応区分	市担当
34	③	大人になった後に「大船渡に戻りたい」と思ってもらえる大船渡市になってほしい。そのために、水産業だけでなく、さまざまな働き口があると良いと思う。	【商工企業課】 中小企業融資あっせん事業などを実施し、中小企業の安定した事業推進を後押しすることで安定した雇用の場を確保しています。(A)	A : 3	商工企業課 農林課 水産課
			【農林課】 国・県と連携し、新規就農者を対象に、農地の確保、支援制度の活用や就農計画作成の相談に応じています。(A)		
			【水産課】 水産業の担い手を育成するため、海づくり少年団の活動に対して、補助するとともに、岩手県、漁業協同組合、漁家と共同して活動の支援を行っています。 また、市内の小中学校生徒を対象として、漁協等が行う水産教室等に対しても協力しています。 両事業については、次年度以降も継続して取り組んでいきます。(A)		
35	③	多様な働き方ができる企業が増えてほしい。市外で就職した人や、市外の人にも「住みたい」と思ってもらえる大船渡市になってほしいため。	市ホームページを通じワーク・ライフ・バランスに係る情報発信を行っています。(B)	B : 1	商工企業課
36	③	「自然がたくさんあるのに、どうしてみんな市外に行ってしまうのか」という話を、学童の子どもから聞くことがあるため、自然を生かしたレジャー(施設)がほしい。 また、経済的に学童に行かせられない家庭への助成を考えてほしい。	【こども家庭センター】 現状、各クラブ(学童)を運営する父母会において、兄弟入所の場合の利用料軽減措置等を行っています。 今後、生活保護世帯や住民税非課税世帯等への支援の在り方について、検討を深めていきます。(B)	A : 1 B : 1	こども家庭センター 観光交流課
			【観光交流課】 市内には、みなと公園、須崎川親水広場、ふるさとふれあい公園、大窪山森林公園「もりの学び舎」など、自然を生かした公園や施設が既に複数整備されていることから、まずはこれら既存施設の有効活用を図っていきたくと考えています。(A)		
37	③	子育てしやすい環境は大事だが、医療面が不安なので考えてほしい。小児科が減ってしまい、子どもが体調を崩したときに連れて行く場所がないため。 また、小中学校から、急なお迎えなど祖父母との同居を前提とした対応を求められることがあったため、核家族を考慮した取扱いをしてほしい。	【国保医療課】 市内で小児科を標榜している医療機関は、県立大船渡病院を含めて3箇所です。 なお、夜間・休日には、小児救急医療電話相談(#8000)の利用や、緊急性が高い場合は、救命救急センターの受診が可能となっています。(A)	A : 1 B : 1	国保医療課 学校教育課
			【学校教育課】 各家庭の事情は多様であり、核家族家庭においては、急な対応が困難であることは認識しています。 お子様の体調などにより、急な迎えをお願いすることもあるが、可能な限り柔軟な対応となるよう、安心して子育てできる環境づくりに努めていきます。(B)		
38	③	子どもがスポ少をしているが、物価高や大会参加費の増加など負担が増えているため、市内に屋内のスポーツ施設(体育館等)が増えてほしい。	市民体育館、三陸B&G海洋センター体育館、三陸体育館のほか、市内学校施設の体育館を開放し、屋内スポーツの場を提供しています。(A)	A : 1	生涯学習課

No.	分野	市民意見	対応方針等	対応区分	市担当
39	③	子どもが、学校でも家庭でもない場所（フリースクールのような）に通える環境がほしい。	市では、旧日頃市中学校内に教育支援センターを設置し、教育相談員が不登校傾向にある児童生徒一人一人に合わせた学習や活動を行うなど、当該児童生徒の居場所の確保に努めています。（A）	A：1	学校教育課
40	③	「宮城県県民の森」のように、山ひとつが丸ごとアスレチックになっている施設がある。大船渡にも、そのように体を動かせる場所がほしい。	<p>【観光交流課】 市内には、ふるさとふれあい公園や大窪山森林公園「もりの学び舎」など、自然を生かした体を動かせる公園や施設が既に整備されていることから、まずはこれら既存施設の活用を図っていきたいと考えています。（A）</p> <p>【農林課】 当市では、市民の保健休養、森林愛護及び環境保全に対する意識を醸成する施設として、「鹿の森公園」と「フレアイランド尾崎岬」を運営しています。（A）</p>	A：2	観光交流課 農林課
41	③	小学生以上になると親に連れて行ってもらう機会が少なくなるため、仲間内だけで行ける遊び場が各所にあってほしい。	以前と比べて遊びの仕方（昔は公園や校庭等）が変わり、また、社会的な要請（安全面の配慮等）を踏まえると、放課後や休日における子どもの過ごし方の中で遊び場をどう考えていくべきか検討を深めていきたいと考えています。（B）	B：1	こども家庭センター
42	③	中学・高校の制服の価格が高く、補助を考えてほしい。	<p>【教育総務課】 高校進学は自由選択であり、学校ごとに制服の価格も異なることから、一律の助成は難しいところです。 令和8年度より、高校授業料が実質無償化される動きがあることから、今後の国の動向をみながら、地域の実情を鑑みて検討していきます。（C）</p> <p>【学校教育課】 中学校や高校の制服については、入学時にまとまった費用がかかるほか、成長に伴う買い替えや季節ごとの追加購入など、保護者にとって金銭的に大きな負担となっていることは認識しています。 今後、他自治体の情報を収集しながら、補助制度の創設について研究を深めていきたいと考えています。（C）</p>	C：2	教育総務課 学校教育課
43	③	近所の管理されていない空き地や空き店舗が、よくない目的に使われるおそれもあることから、市でも把握や管理について働きかけをしてほしい。	市内事業者の廃業状況の把握は困難です。（D）	D：1	商工企業課
44	④	進学でいなくなった若者が戻ってくるようになってほしい。そのために、市内の企業に就職することなどを条件に、給付型の奨学金（条件付き、所得制限なし）を望む。	<p>【商工企業課】 奨学金返還支援補助金事業を実施し、大学等卒業後当市にUターンし易い環境整備に努めています。（B）</p>	B：1	商工企業課

No.	分野	市民意見	対応方針等	対応区分	市担当
45	④	災害が風化しないまちになってほしい。震災や林野火災について、産業まつりで写真展示はあったが、そのような機会を充実してほしい。	<b>【危機防災対策課】</b> 市では津波伝承の取組として、防災学習館や市立博物館、市魚市場において、過去の津波被害の記憶や教訓の伝承のほか、防災学習館では、津波に加え洪水や土砂災害等の大規模自然災害に対する備えなど、多面的な学習機会を提供しています。 大規模林野火災から得た経験や教訓について、確実に後世へ伝承するため、資料展示や記録保存等の実施に向け検討していきます。(B)	B : 2	危機防災対策課 林野火災対策局
			<b>【林野火災対策局】</b> 大規模林野火災からの復旧・復興に向けた取組について、引き続き適時適切に情報発信していきます。(B)		
46	④	人と人とのつながりにフォーカスして、その良さを発信してほしい。	広報おおふなとや各種SNSを通じて、当市の魅力やまちの出来事などの情報を発信しています。 今後、広報おおふなの紙面構成の一部変更を予定しており、大船渡ならではの魅力の発信に継続して取り組みます。(A)	A : 1	デジタル戦略課
47	④	地域連携について、大船渡高校でも「大船渡学」に取り組んでいて、進学や、地域や社会に対する理解を深めることにつながる良い機会であると思っている。連携して実践的な活動に取り組めたらいいと思う。市としても学生が興味を持てるような宣伝、アピールに力を入れてもらいたい。	<b>【総務課】</b> 現在実施しているインターンシップや出前型の企業説明会に併せて、市の施策や地域課題に関する情報提供を強化し、生徒が地域への理解を深める機会づくりに努めます。(B)	A : 1 B : 1	総務課 市民協働課
			<b>【市民協働課】</b> 市では、地区運営組織と地区内の小・中学校が連携して取り組む事業（日頃市小学校の田植え体験、綾里地区の緑地広場の集い等）についてSNSを活用し、周知宣伝を支援しています。(A)		
48	④	「少子高齢化」が出たが、子育て世代への支援を拡充してほしい。子育て世代が住みやすいまちにしてほしいため。	保育料の完全無償化や児童手当の拡充等、経済的支援を含めた子育て支援と家庭と仕事との両立支援を軸に取り組んでおり、引き続き若い人達にとって暮らしやすいまち・子育てしやすいまちとなるよう、子育て支援等に取り組みます。(A)	A : 1	こども家庭センター
49	④	学生に対する支援で、中学生まではいろいろ支援制度があるが高校になるとあまりないので充実させてほしい。海外派遣の活動などにお金がかかり、参加機会に差が生じてしまっているため。	高校生に関する支援は、県教育委員会や各学校による取組が中心となっており、教育活動の実施内容や参加費についても各学校ごとに異なることから、市として一律の助成は難しいところです。 なお、一般社団法人大船渡市育英奨学会では、経済的に困っている場合、高校生に対し月額10,000円の貸与を実施しています。(D)	D : 1	教育総務課

No.	分野	市民意見	対応方針等	対応区分	市担当
50	④	高齢者が社会の役に立てる機会の確保のほか、空き家の整備（管理）をしてほしい。高齢者が歩く習慣が少ないと思う。また、温暖化で水揚げされる魚種が変わっているので、名産（品）を変えるなどの対応もしてほしい。	<p><b>【長寿社会課】</b> 高齢者の豊富な経験や知識が活かされ、地域で役割をもって生きがいくくりや健康づくりの活動ができるよう、大船渡市シルバー人材センターや市老人クラブ連合会・単位老人クラブ連合会の運営を支援していきます。（B）</p> <p><b>【水産課】</b> 海洋環境の変化等により、大船渡市魚市場に水揚げされる魚種が変化していることから、令和3年度に大船渡市水産加工原魚転換支援事業費補助金を創設し、水産加工事業者が加工原魚の魚種転換を行う場合に、新商品の開発や試作に必要な製造機械等の導入等に取り組む経費の一部に対して補助金を交付しています。（A）</p> <p><b>【住宅管理課】</b> 空家等対策を総合的かつ計画的に推進するため、令和2年に「大船渡市空家等対策計画」を定め、空き家に関する取り組みを進めています。 現在、県外移住者や39歳以下の若者が空き家バンクを利用して空き家を取得した場合に奨励金を交付する等、空き家に関する様々な助成を行っています。 一方で、所有者が遠方に居住していたり、所有者が不明である場合、そのまま放置されている空き家も存在しています。 家は不動産であり、個人の財産であるため、行政が直接管理できないことから、所有者に対し都度注意喚起を行っているところです。 今後、空き家バンクの積極的な活用のためのPRや出前講座等で、管理不全な空き家を増やさない取り組みを進めていく必要があると考えています。（B）</p>	A : 1 B : 2	長寿社会課 水産課 住宅管理課

No.	分野	市民意見	対応方針等	対応区分	市担当
51	④	災害に強いまちづくり、地産地消を盛んにしてほしいし、自転車道がほしい。	<p><b>【危機防災対策課】</b> 市では、あらゆる災害から市民の生命、財産を守るため、地域防災計画等に基づき、市防災訓練の実施を始め、ハザードマップの作成、防災行政無線等による迅速かつ確実な情報伝達など、防災・減災に係る各般の施策を推進しています。 今後においても、災害備蓄品の充実や避難所環境の改善、自主防災組織との連携強化など、災害に強いまちづくりを進めていきます。(B)</p> <p><b>【農林課】</b> 地域内消費の拡大を図るため、当市が参画する大船渡地方農業振興協議会において、産直支援として農産物の安定供給等による経営発展を目的とした研修会を実施しています。(B)</p> <p><b>【水産課】</b> 災害に強いまちづくりについては、東日本大震災による津波被害を受け、津波浸水想定により、比較的発生頻度の高い津波(L1津波)に対応した海岸保全施設を整備しており、最大クラスの津波(L2津波)についてはソフト対策で対応しています。 地産地消については、海洋環境の変化等により、大船渡市魚市場に水揚げされる魚種が変化していることから、令和3年度に大船渡市水産加工原魚転換支援事業費補助金を創設し、水産加工事業者が加工原魚の魚種転換を行う場合に、新商品の開発や試作に必要な製造機械等の導入等に取り組む経費の一部に対して補助金を交付しています。 多種多様な魚種が市内に流通するよう、今後も当該補助事業の推進に努めていきます。(B)</p> <p><b>【建設課】</b> 自転車道の整備については、市民生活等の必要性を考慮し、国・県からの情報等を踏まえながら、整備の可能性を検討していきます。(C)</p>	B : 3 C : 1	危機防災対策課 農林課 水産課 建設課

No.	分野	市民意見	対応方針等	対応区分	市担当
52	④	内陸から大船渡へのアクセスが悪い。また、観光客などにとってアクセスが分かりにくいので、マップを作ってほしい。	<p><b>【観光交流課】</b> 市内へのアクセスについては、既存のマップだけでなく、観光リーフレットなど各種媒体にも記載されていることから、まずはこうした媒体の活用を進めるとともに、観光サイト「おおふなとりっぷ」に掲載しているデジタルマップの周知を図るなど、紙媒体以外のマップ活用についても推進していきたいと考えています。(A)</p> <p><b>【建設課】</b> 気仙地域と県内陸部を結ぶ一般国道107号について、白石峠区間などの改良整備を関係機関に働き掛けるとともに、当市と遠野市間を結ぶ区間が岩手県新広域道路交通計画において構想路線に選定されたことから、期成同盟会を通じて、国・県に対し高規格化の指定に向けた働き掛けを強めていきます。(B)</p>	A : 1 B : 1	観光交流課 建設課
53	④	観光と地域行事を融合したイベントを考えてほしい。地域のお年寄りにも興味を持ってもらえると思うため。	<p><b>【市民協働課】</b> 市では、地区運営組織が地区内の団体等と連携して実施する地域行事や事業（綾里地区夏まつり、日頃市地区文化祭・軽トラ市等）を支援しています。(A)</p> <p><b>【観光交流課】</b> 当市を訪れる観光客が地域行事や年配者との交流に寄せる興味、関心の大きさや、それらが誘客要因となり得る可能性を踏まえ、観光振興への効果や影響を総合的に考慮しながら、必要に応じて取組を検討したいと考えています。(B)</p>	A : 1 B : 1	市民協働課 観光交流課
54	④	もっと町おこしを進めるため、PRを増やしたり、交通の便を良くしたり、イベントを増やしてほしい。	<p><b>【市民協働課】</b> 市では、地域の活性化に向けて、市民活動団体が実施する事業（末崎まつりフェスタ等）に対し、市民活動支援事業補助金を交付しています。(A)</p> <p><b>【観光交流課】</b> イベントについては、対象となる参加者の年齢、性別、属性などに基づく「ニーズ」への満足度に加え、イベントの規模や開催時期、近隣自治体における類似イベントの開催状況などを総合的に考慮して実施する必要があります。 単にイベント数を増やすのではなく、既存イベントの見直しや認知度向上に向けた効果的なPR活動を展開し、イベントの質と魅力の向上を図ることで、町おこしに寄与するイベント開催に努めていきたいと考えています。(B)</p> <p><b>【港湾振興課】</b> 持続可能な交通サービスを維持・確保していくため、現在、令和8年度以降の大船渡市地域公共交通計画を策定しており、本計画において市が目指す方向性を示しながら、可能な限り公共交通の利便性が向上するよう取り組んでいきます。(B)</p>	A : 1 B : 2	市民協働課 観光交流課 港湾振興課

No.	分野	市民意見	対応方針等	対応区分	市担当
55	④	小さい子どもや学生に、いろいろな経験をしてほしい。海外派遣や企業見学で、小さい頃のそういった経験が後の価値観につながると思うため。	<p>【こども家庭センター】 若者が暮らしやすく活躍できる地域社会の実現にむけ、若者交流促進支援成制度を創設しており、引き続き若者同士の交流や地域での活動の場づくりを支援していきます。(A)</p> <p>【商工企業課】 市において、キャリアチャレンジデイを実施しています。(A)</p> <p>【学校教育課】 市では、キャリア教育の充実に取り組んでいて、中学校1年生を対象とした職業講話、中学校2年生を対象とした職場体験学習を実施し、市内のさまざまな企業等に関して、学習を深めています。(A)</p> <p>【教育総務課】 高校の取組は、県教育委員会や各高校が教育活動を検討しながら実施しているものです。 市としても、各種活動への参加機会や制度の情報収集に努め、周知を図っていきます。(B)</p>	A : 3 B : 1	こども家庭センター 商工企業課 学校教育課 教育総務課
56	④	大船渡東高校食物文化科を残してほしい。 ・調理師だけでなく、やりたいことを見つけられる学科であり、地域の食材を使いながら学ぶことができるため。 ・料理を学ぶだけでなく、介護職など多くの分野に欠かせないため。 ・中学生のときに知り、食の道に進むのが夢になったし、調理師になりたいという人のためにも必要。 ・生徒会活動など同科がひっばっているし、越喜来漁協と協力して未利用魚の活用研究もしているなど、4学科の中で最も地域貢献できているため。 ・卒業と同時に調理師免許を取得することができるが、科がなくなったら調理師になる夢をあきらめる人が出るため。 ・管理栄養士を目指しており、学んだ知識と経験を活かし、栄養面だけでなく食の楽しさも伝えたい。地域課題型研究では未利用魚を使い子供への食育も実施しており、地域に貢献したい。	<p>【企画調整課】 令和7年10月21日、岩手県教育委員会教育長に対し、岩手県沿岸南部地区の5市町(当市、陸前高田市、住田町、釜石市、大槌町)が共同で、大船渡東高校食物文化科の存続を求める旨の要望を実施しました。(A)</p> <p>【教育総務課】 引き続き、大船渡東高校食物文化科存続に向け、岩手県教育委員会へ教育環境や地域社会に与える影響について訴えていきます。(A)</p>	A : 2	企画調整課 教育総務課